

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市千里山西6丁目PJ	階数	地上4F
建設地	吹田市千里山西	構造	S造
用途地域	第1種中高層、2種住居、16m第三種	平均居住人員	70人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年10月 予定	評価の実施日	2022年10月3日
敷地面積	2,702㎡	作成者	松永 康宏
建築面積	883㎡	確認日	
延床面積	3,018㎡	確認者	松永 康宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	92%
③上記+②以外の	92%
④上記+	92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

音環境	2.6
温熱環境	2.7
光・視環境	3.6
空気質環境	3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	4.1
耐用性	3.2
対応性	2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

生物環境	3.0
まちなみ	4.0
地域性・	3.0

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.5
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	3.3
地域環境	3.1
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項		
総合 欧州の田舎町のようなゆっくりと優しい感じで、キレイ過ぎず、着飾らない、明るく、温かみが感じられる空間。		その他 特になし
Q1 室内環境 四方にバルコニー及び庇を設置し、日差しを制御している。 居室は各室毎、共用部はエリア毎に室外機の系統分けをしており、空調制御に配慮している。	Q2 サービス性能 個室は18m ² 以上あり、十分な広さを確保している。 スタッフルーム、洗濯室を各階に設け、維持管理機能に配慮している。 白と木目調の建材を採用し、明るく優しい空間造りに配慮	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の緑地面積が十分に確保されている。
LR1 エネルギー 屋根、外壁に断熱材を使用する等、一般的な省エネ対策を行っている。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を使用する等、節水に配慮している。	LR3 敷地外環境 緑地面積を多く確保することで、温熱環境悪化の改善を行っている。 十分な台数の駐車場、駐輪場を設置している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0079

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市千里山西6丁目PJ					
	建設地	吹田市千里山西					
	用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.5	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		